

2025年12月11日
株式会社三菱UFJ銀行
インクルージョン・ジャパン株式会社

人・資源不足の解決に挑むスタートアップ・中小企業を
「インパクト可視化×大企業協業」で後押し、循環型経済を加速
MUFG ICJ ESG アクセラレーター 2026 を開催

株式会社三菱UFJ銀行（以下、三菱UFJ銀行）と、ESG領域においてベンチャー投資・事業共創を行うインクルージョン・ジャパン株式会社（以下、ICJ）は、循環型経済に取り組むスタートアップ・中小企業の社会的インパクトを可視化し、大企業との協業の意思決定を加速するプログラム「MUFG ICJ ESG アクセラレーター 2026」を開催します。

両社による共同開催は4回目で、これまでに60社以上の大企業が参画し、ESG領域での協業・事業創出を支援してきました。今回は協業支援に加え、生成AIを用いた成果や社会的インパクトの「可視化」ノウハウを提供し、参加企業の事業成長を促進します。

本プログラム開催に先立ち、2026年1月29日に行うキックオフイベントに参加する事業会社、スタートアップ・中小企業の募集を開始しました。



■ 本プログラム開催の背景と趣旨

「社会にいいこと」で終わるな。Evaluate Social Impact.

循環型経済への移行に向けては、新技術の導入やサプライチェーンの構築・高度化などのための資金動員が必要です。三菱 UFJ 銀行は、循環型経済への移行を優先課題の一つとして位置づけ、お客さまへの資金支援のみならず、グループの総合力を活かしたソリューション提供を通じ、積極的に支援しています。

本プログラムでは、循環型経済への移行の担い手となる企業を募集し、公募・選抜した企業に対して、ICJ の投資先であるインパクトサークル株式会社が開発した、生成 AI を活用したインパクト可視化技術を無償で提供します。これにより、スタートアップや中小企業は自社の社会的価値をより明確に示せるようになり、投資家・金融機関・ステイクホルダーへの説明力を向上させ、資金調達・事業協業・人材採用などの成長機会につなげることを目指します。

■ 本プログラムの特徴

1. 大企業協業 × インパクト可視化の一体型支援

公募・選抜したスタートアップや中小企業に、大企業のサステナビリティ部門／CVC／事業開発部門へのアクセス機会を用意し、協業を支援するとともに、事業のインパクト可視化ノウハウを提供します。

2. スタートアップだけでなく、中小企業も積極支援

循環型経済の担い手となる顧客基盤や実稼働オペレーションを有する中小企業を積極的に募集します。

3. オープンな協業・投資の場として、多様な大企業・VC 等が参画

多数の大企業・ベンチャーキャピタル、有識者が参画し、協業・投資機会をオープンに得られる設計です。

4. 協賛する大企業は、プロダクトを迅速にテスト利用可能

協賛企業は、協賛費の一部を活用し、スタートアップ・中小企業のソリューション・サービスを試用することで、スピーディーに協業可能性を検証できます。また、スタートアップ・中小企業としても当該対価をタイムリーに得られるメリットがあります。

■募集対象・テーマと参加メリット

本プログラムは、循環型経済の実現や人・資源不足の課題解決に挑むスタートアップ中小企業を広く募集します。特に、協賛各社が注力する以下の4つのテーマに取り組む企業を歓迎いたします。

注力テーマ1 「次世代エネルギー転換の産業実装」

産業プロセスの電化や、水素等への熱源転換を実現するソリューションを有する企業を募集します。あわせて、エネルギー利用効率化や太陽光・蓄電池等の利活用・リサイクルに取り組む企業も歓迎します。

注力テーマ2 「プラスチック資源循環の高度化」

プラスチックの再資源化、再生材の品質向上、バリューチェーン全体の追跡・管理を高度化する技術を有する企業を募集します。素材開発、分別・選別、再生材プラットフォームなど、循環型社会の実現に寄与する幅広い取り組みを歓迎します。

注力テーマ3 「食の生産性向上とサプライチェーン改善」

食の循環を、廃棄後の再利用や代替食材に限定せず、需給予測、在庫・物流の最適化、グローバルなサプライチェーンの強靭化など、食産業の生産性向上を後押しすることで、結果として大量廃棄から脱却することを目指します。

注力テーマ4 「生成AIを活用した人手不足の解消」

人手不足は、大企業・中小企業を問わず、喫緊の課題です。生成AIを活用した生産性向上ソリューションを有するスタートアップや、既存業務を生成AIで効率化し、そのノウハウの横展開を目指す中小企業等を広く募集します。

■ プログラムの流れ

本プログラムは、2026年1月29日のキックオフイベントを皮切りに、スタートアップ・中小企業の募集を開始します。募集後、協賛企業やベンチャーキャピタルによる審査の後、選抜された企業には大企業との協業検討・テスト利用の開始、社会的インパクト可視化支援を行った上で、2026年5月に予定しているデモディにおいて、その成果発表を行います。詳細日程は追ってご案内します。

■ キックオフイベントの参加者募集開始

キックオフイベントでは、社会的インパクト可視化の基礎から、大企業やスタートアップにおける活用事例に加えて、投資家や大企業が注目する「人・資源不足」スタートアップ・中小企業の具体像についてのパネルディスカッションを行います。対面・オンラインでの参加者を募集しますので、奮ってご応募ください。

社会を変える 「資金」と「仕組み」の 最前線

一般財団法人
社会変革推進財団（SIIF）
インパクトオフィサー／事業部長
加藤 有也

三菱UFJ銀行
サステナブルビジネス部
投資・事業推進室長
谷口 美和

KIBOW社会投資
インベストメント
プロフェッショナル
五十嵐 剛志

インクルージョン・ジャパン
代表取締役
服部 結花

インパクト可視化が
「選ばれる企業」の条件になる理由を解説



MUFG / ICJ ESG ACCELERATOR 2026
KICKOFF EVENT

2026 1.29 [木]
@ベルサール虎ノ門 18:30-20:00

「人・資源不足」を解決する
スタートアップ・中小企業を募集中!
大企業協業や資金調達に
つながるチャンスも!

参加費:無料

【日時・場所】

2026年1月29日(木) 18:30~20:00 ベルサール虎ノ門

【登壇者】

一般財団法人社会変革推進財団（SIIF） インパクトオフィサー／事業部長 加藤 有也
KIBOW 社会投資 インベストメントプロフェッショナル 五十嵐 剛志
株式会社三菱UFJ銀行 サステナブルビジネス部 投資・事業推進室長 谷口 美和
インクルージョン・ジャパン株式会社 代表取締役 服部 結花

【申込サイト】

<https://www.esgaccelerator.com/>

■MUFG ICJ ESG アクセラレーターについて

2021年秋にICJが、日本初となるESGアクセラレータープログラムを開催して以来、三菱UFJ銀行との共催による「MUFG ICJ ESG アクセラレーター」の開催は今回が4回目となります。本プログラムを通じて、360を超える世界中のベンチャー企業と、ESGを重視し、脱炭素・サステナブルな社会を目指す60以上の事業会社との出会い・協業を実現してきました。

【公式サイト】

<https://www.esgaccelerator.com/>

<インクルージョン・ジャパン株式会社>

本店所在地	東京都品川区西五反田1-11-1 アイオス五反田駅前ビル903
代表者	代表取締役 服部 結花
事業内容	ベンチャーキャピタルファンド運営、インキュベーション事業
ホームページ	https://inclusionjapan.com

<株式会社三菱UFJ銀行>

本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
代表者	取締役頭取執行役員 半沢 淳一
事業内容	銀行業、その他の金融サービス
ホームページ	https://www.bk.mufg.jp/index.html